

---

公開研究会

# 「都市における芸術監督の役割とは」

2007年3月7日（水）18:00～20:00（終了予定・途中休憩有）  
東京大学本郷キャンパス 法文二号館一大教室

出演：上岡敏之（ヴッパタール市音楽総監督、ザールブリュッケン音楽大学教授）  
対話者：藤野一夫（神戸大学国際文化学部教授）、大久保広晴（武蔵野文化事業団）

---

芸術監督といえば、劇場やオーケストラにおいて、芸術的成果を目指して芸術的プログラム全般を担う人と考えられるだろう。しかし、劇場やオーケストラは、社会と離れて存在するのではなく、それが存在する地域や都市と密接に結びついている。それゆえに芸術監督の役割も、たんに劇場やオーケストラ内部の芸術的成果を達成するだけでなく、都市や地域における公論の形成や公共的価値の創造に深く関与している。こうしてドイツでは、劇場やオーケストラが、学校、教会、病院と同じように、都市や地域の生活に不可欠なものとして存在し、社会に開かれた公共財として歴史的に認知されてきたのである。それゆえ芸術監督の役割も、日本におけるイメージとは随分異なっていると思われる。都市において芸術監督はどのような役割を担っているのか。現在でも劇場は、ドイツの地域社会にとって生活に不可欠なものとして存在しているのか。そうであるとすれば、日本の芸術文化環境を改善するヒントは、どこにあるのだろうか。ドイツ・ヴッパタール市音楽総監督を務める上岡敏之氏との対話から、こうした疑問への答えを探ってみたい。

---

主催：日本学術振興会人文社会振興プロジェクト

「都市政策の課題と芸術文化の役割」グループ

協力：（財）武蔵野文化事業団

お問い合わせ：「都市政策の課題と芸術文化の役割に関する研究」グループ事務局（代表：小林真理）

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院人文社会系研究科 文化資源学研究室内

TEL&FAX 03-5841-1251

Homepage : <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/CulturalPolicy/index.html>

---

## <プロフィール>

### ■上岡 敏之

1960年東京に生まれ。1979年から1983年まで東京芸術大学指揮科に在学し、指揮をマルティン・メルツァーに師事する。在学中の1982年に安宅賞を受賞。1984年から1986年まで、ハンブルク音楽大学に在学し、指揮をクラウスペーター・ザイベル、ピアノをロバート・ヘンリーに師事する。

1987年、ハンブルク音楽大学にて、室内楽、伴奏の講師となる。また同年よりキール市立劇場にて、指揮者及びコレペティトウアーとして、1992年まで務める。1992年から1996年まで、エッセン市立アールト劇場の第1指揮者を務め、同時にエッセン・folkヴァング音楽大学の吹奏楽および指揮講師を務める。1996年から2004年8月までヴィースバーデンのヘッセン州立劇場の音楽総監督を務める。また、1997年から2005年夏まで北西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団（ヘアフォルト）の首席指揮者も兼任している。

2000年から2001年にかけて、フランクフルト音楽大学で、オペラ・クラスの教授も務め、2004年10月からザールブリュッケン音楽大学の教授に就任し、後進の指導にあたっている。2004年秋から、ヴッパータール市の音楽総監督に迎えられ、今日に至る。ドイツ国内だけでも20以上のオーケストラを指揮するほか、国内では読売日本交響楽団、NHK交響楽団などへの客演も行なっている。指揮活動だけでなく、ピアニストとしてソロ・リサイタルや室内楽の演奏会を精力的に展開している。

2007年秋には、ヴッパータール交響楽団を率いて日本への凱旋公演を行う。また2008年6月には新国立劇場に初登場し、「椿姫」を指揮する。

### ■藤野一夫

1958年東京生まれ。早稲田大学、立教大学、埼玉大学、学習院大学（博士後期課程修了）、ハイデルベルク大学で、哲学、芸術学、ドイツ文学を学ぶ。1989年より神戸大勤務、現在、国際文化学部および大学院総合人間科学研究科教授。芸術文化環境論、表象文化思想論、文化環境形成論、等を講じる。ハンブルク音楽大学客員教授、大阪大学大学院、大阪教育大学、放送大学等の講師を歴任。現在、神戸女学院大学講師（アートマネジメント論）、びわ湖ホール理事、神戸文化ホール活性化委員長、豊中市文化芸術振興審議会委員、文化経済学会<日本>理事、日本ワーグナー協会理事、日本アートマネジメント学会代表委員等を兼任。

### ■大久保広晴

1977年生まれ。明治大学政治経済学部卒業。1999年より（財）武蔵野文化事業団にて、クラシック音楽を中心に様々なプロデュースを手がけている。代表的なものに、藤村実穂子（Ms）の日本初リサイタル、柳家喬太郎の円朝版『トスカ』（平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞）等がある。